

平成 30 年

# 定期代議員会議案書

日時 平成30年3月18日（日）午後2時  
会場 座間市 ハーモニーホール座間

神奈川県ソフトテニス連盟

# 平成 30 年 定期代議員会議案書

## 目 次

平成 30 年 定期代議員会次第	2
表彰者名簿	3
議案第 1 号 平成 30 年度事業計画案	10
<1>事業方針	10
<2>大会日程ならびに会場	12
<3>大会要項（中央大会等県外大会）について	13
<4>平成 30 年度登録方法と会費について	15
<5>平成 30 年度登録補助金について	15
議案第 2 号 平成 30 年度予算案	16
1. 総収入支出予算額	16
2. 一般会計収支予算書	16
3. 特別会計	20
(1) 国体関係費特別会計収支予算書	20
(2) 競技力向上補助事業費特別会計収支予算書	21
別表	
収入	
1. 登録会費収入の内訳	22
2. 大会参加料収入の内訳	23
3. 補助金収入の内訳	24
支出	
1. 大会参加料の内訳	24
代議員	25

## 平成30年 定期代議員会次第

1. 開会のことば 副理事長 米川 和幸
2. 挨拶 会長 河野 洋平
3. 議長推薦
4. 議長挨拶
5. 議事 議案第1号 平成30年度事業計画案  
議案第2号 平成30年度予算案
6. 表彰式 叙勲  
旭日単光章 1名  
(公財)日本ソフトテニス連盟表彰  
支部功労賞 2名  
優良団体賞 1団体  
神奈川県ソフトテニス連盟表彰  
地域功労賞 7名  
優良団体 1団体  
ランキング第1位 48名  
優秀賞(個人) 232名(140名)  
優秀賞(団体) 9団体(8団体)
7. 受彰者代表謝辞
8. 閉会のことば

※懇親会

# 表彰者名簿

## 叙勲

- 1 旭日単光章 金児 忠枝 殿 (県連盟副会長)

## (公財) 日本ソフトテニス連盟表彰

- 1 支部功労賞 栗本 頼一 殿 (県連盟代議員)  
吉田 賢治 殿 (元県連代議員)
- 2 全日本ランキング
- |         |     |                        |
|---------|-----|------------------------|
| シニア男子70 | 第3位 | 石崎 和義 殿 (横浜市役所)        |
|         | 第3位 | 宝力 良允 殿 (逗子開成軟式庭球部OB会) |
| シニア男子75 | 第1位 | 野地 光明 殿 (日本スポーツマンズクラブ) |
|         | 第3位 | 青木 東平 殿 (金剛寺クラブ)       |
| シニア男子80 | 第3位 | 栗田 舜二 殿 (金剛寺クラブ)       |
|         | 第3位 | 荻窪 武晴 殿 (あしがら21)       |
| シニア女子80 | 第3位 | 湯原 落江 殿 (港北軟庭会)        |
|         | 第3位 | 星野 弘子 殿 (ひまわりレディースクラブ) |
| シニア混合55 | 第2位 | 太田 孝史 殿 (北相ソフトテニスクラブ)  |
|         | 第2位 | 野口 弘美 殿 (あじさいクラブ)      |
| シニア混合60 | 第2位 | 金子 由美 殿 (横浜スマイル)       |
- 3 優良団体賞 大和庭友会 (県央協会)

## 神奈川県ソフトテニス連盟表彰

- 1 地域功労賞 岩村征四郎 殿 (川崎市協会推薦)  
石上 明伸 殿 (横須賀協会推薦)  
角田 洋美 殿 (小田原協会推薦)  
相川 浩幸 殿 (県央協会推薦)  
手塚 カク子 殿 (レディース連盟推薦)  
山本 修 殿 (高体連推薦)  
込山 隼 殿 (県学連推薦)
- 2 優良団体賞 金剛寺クラブ 殿 (小田原協会推薦)

### 3 優秀賞（個人）

#### （1）ランキング第1位

小学男子	脇田 大吉 殿	栗田 亮 殿	（秦野ジュニア）
小学女子	三角 梨花 殿	伊東李々花 殿	（南大師ジュニア）
中学男子	山口 巧聖 殿	古枝 由行 殿	（大磯町立大磯中学校）
中学女子	長谷川日紀 殿	伊藤 千夏 殿	（横浜市立領家中学校）
高校男子	矢野 陽大 殿	石井 武尊 殿	（相洋高等学校）
高校女子	神崎ひより 殿	平本 茜里 殿	（相洋高等学校）
大学男子	和泉 輝 殿	木村 卓 殿	（東海大学）
大学女子	山本 李花 殿	富田めぐみ 殿	（東海大学）
一般男子	及川 大和 殿	南川 隆 殿	（桜倶楽部・三菱重工相模原）
一般女子	堀越ほの香 殿	檜山ちはる 殿	（桜倶楽部）
成年男子	森本 直宏 殿	宮野 聡 殿	（三浦クラブ）
シニア男子45	岩渕 浩 殿	竹田 明弘 殿	（大和庭友会・厚木市役所）
シニア男子50	吉門 卓史 殿	植木 克典 殿	（横浜市役所）
シニア女子50	高橋 智子 殿	野口 弘美 殿	（むつみクラブ・あじさいクラブ）
シニア男子55	成瀬 政寛 殿	田中 守 殿	（横浜ドリームズ）
シニア女子55	金子 由美 殿	加藤 君子 殿	（横浜スマイル・三菱重工相模原）
シニア男子60	力石 要 殿	野仲 豊 殿	（横浜ドリームズ）
シニア女子60	花上智代子 殿	大熊扶左恵 殿	（厚木テニスクラブ・戸塚会）
シニア男子65	小澤 孝 殿	岸 文男 殿	（金剛寺クラブ・あしがら21）
シニア女子65	筒井まさ子 殿	南雲 睦子 殿	（フコクテニスクラブ・洋光台クラブ）
シニア男子70	石崎 和義 殿	宝力 良允 殿	（横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会）
シニア女子70	久津野博子 殿	竹内美恵子 殿	（あしがら21・浜砂ソフトテニスクラブ）
シニア男子75	切山 紘 殿	仙田 邦夫 殿	（厚木フレンドリー・瀬谷テニスクラブ）
シニア女子75	黒田 妙子 殿	幾田 靖子 殿	（日の出川クラブ・小槻クラブ）

#### （2）神奈川県選手権大会（優勝）

小学校低学年男子	金野 壮冴 殿	山本脩二郎 殿	（南大師ジュニア）
小学校低学年女子	可知 楓 殿	石津 緩奈 殿	（横須賀ドリームスポーツ少年団）
小学校高学年男子	青木 真尋 殿	金崎隆之介 殿	（伊勢原ジュニア）
小学校高学年女子	三角 梨花 殿	伊東李々花 殿	（南大師ジュニア）
中学校男子	菅野晃太郎 殿	工藤陽光也 殿	（横浜市立領家中学校）
中学校女子	長谷川日紀 殿	長谷川天紀 殿	（横浜市立領家中学校）
高校男子	矢野 陽大 殿	石井 武尊 殿	（相洋高等学校）

シングルス	細野 奨太 殿	(横浜創英高等学校)
高校女子	神崎ひより 殿	平本 茜里 殿 (相洋高等高校)
シングルス	鈴木 優美 殿	(日本大学藤沢高等学校)
大学男子	和泉 輝 殿	木村 卓 殿 (東海大学)
大学女子	山本 李花 殿	富田めぐみ 殿 (東海大学)
一般男子	石井 健太 殿	伊藤 浩貴 殿 (三菱重工相模原・せせらぎクラブ)
一般女子	堀越ほの香 殿	檜山ちはる 殿 (桜倶楽部)
成年男子	座間 慎悟 殿	椎名 宏 殿 (JOHNNY'S・桜倶楽部)
シニア男子45	岩渕 浩 殿	竹田 明弘 殿 (大和庭友会・厚木市役所)
シニア男子50	吉門 卓史 殿	植木 克典 殿 (横浜市役所)
シニア女子50	田中 道子 殿	西川 淳子 殿 (横浜レディース・むつみクラブ)
シニア男子55	成瀬 政寛 殿	田中 守 殿 (横浜ドリームズ)
シニア女子55	金子 由美 殿	加藤 君子 殿 (横浜スマイル・三菱重工相模原)
シニア男子60	阿部 藤彦 殿	高井 久志 殿 (三菱重工相模原・秦野クラブ)
シニア女子60	花上智代子 殿	大熊扶左恵 殿 (厚木テニスクラブ・戸塚会)
シニア男子65	小澤 孝 殿	岸 文男 殿 (金剛寺クラブ・あしがら21)
シニア女子65	筒井まさ子 殿	南雲 睦子 殿 (フコクテニスクラブ・洋光台クラブ)
シニア男子70	石崎 和義 殿	宝力 良允 殿 (横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会)
シニア女子70	久津野博子 殿	竹内美恵子 殿 (あしがら21・浜砂ソフトテニスクラブ)
シニア男子75	切山 紘 殿	仙田 邦夫 殿 (厚木フレンドリー・瀬谷テニスクラブ)
シニア女子75	伊藤 文子 殿	平田 美子 殿 (横須賀レディース・日の出川クラブ)

#### (4) 関東選手権大会

成年男子	第3位	座間 慎悟 殿	ウォン 殿 (JOHNNY'S)
シニア女子45	第2位	田中 道子 殿	(横浜レディース)
	第3位	下村万貴子 殿	(フコクテニスクラブ)
シニア女子50	準優勝	西川 淳子 殿	(むつみクラブ)
シニア男子60	第3位	力石 要 殿	野仲 豊 殿 (横浜ドリームズ)
シニア女子60	優勝	松崎 朋子 殿	市川 富子 殿 (湘南クラブ・横浜レディース)
シニア男子70	第3位	石崎 和義 殿	宝力 良充 殿 (横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会)
	第3位	宮崎 敏行 殿	川又 信夫 殿 (大和庭友会・大和テニスクラブ)
シニア男子75	優勝	青木 東平 殿	(茅ヶ崎クラブ)

(5) 関東高校選手権大会

男子団体第3位 横浜創英高等学校  
監督 松口 良也 殿  
選手 今本 大翔 殿 渡辺 滯治 殿 長嶋 航大 殿  
伊藤 翔太 殿 福嶋 優 殿 坪井 涼 殿  
澤田 浩輔 殿 工藤眞明也 殿

女子団体第3位 日本大学藤沢高等学校  
監督 石井 匠 殿  
選手 鈴木 優美 殿 村磯 春奈 殿 片倉 南 殿  
橋詰れいな 殿 森 千夏 殿 池田奈美佳 殿  
小澤 真洸 殿 小森 彩葉 殿

女子団体3位 川崎市立橘高等学校  
監督 塚野 剛史 殿  
選手 安土 月乃 殿 佐俣 海遊 殿 杉田 来未 殿  
久米 夏子 殿 石塚さくら 殿 町田 奈緒 殿  
爲我井里奈 殿 新沢星里菜 殿

(6) 関東高校選抜ソフトテニス大会

男子団体第3位 横浜創英高等学校  
監督 松口 良也 殿  
選手 細野 奨太 殿 工藤眞明也 殿 澤田 浩輔 殿  
和泉 希 殿 星 陸也 殿 戸塚 寛太 殿  
大畑 暁仁 殿 神崎 礁吾 殿

(7) 関東家庭婦人大会

シニア女子45 優勝 下村万貴子 殿 (フコクテニスクラブ)  
第3位 小野 暁子 殿 門倉久美子 殿 (あじさいクラブ)  
シニア女子50 第3位 新免智恵子 殿 慶林坊洋子 殿 (横浜スマイル)  
シニア女子55 第3位 金子 由美 殿 加藤 君子 殿 (横浜スマイル・三菱重工相模原)  
シニア女子60 優勝 松崎 朋子 殿 (湘南クラブ)  
シニア女子70 第3位 久津野博子 殿 (あしがら21)  
第3位 竹内美恵子 殿 (浜砂クラブ)

(8) 国民体育大会関東ブロック大会

少年女子第2位

監督 塚野 剛史 殿 (川崎市立橘高等学校)

選手 安土 月乃 殿 (川崎市立橘高等学校) 矢野 礼実 殿 (相洋高等学校)

神崎ひより 殿 (相洋高等学校) 平本 茜里 殿 (相洋高等学校)

栞野 未来 殿 (県立小田原高等学校) 杉田 来未 殿 (川崎市立橘高等学校)

鈴木 優美 殿 (日本大学藤沢高等学校) 佐俣 海遊 殿 (川崎市立橘高等学校)

(9) 東日本選手権大会

成年男子 第3位 太田 努 殿 小林 宗 殿 (JX金属倉見・JOHNNY'S)

シニア女子45 準優勝 小野 暁子 殿 (あじさいクラブ)

シニア女子50 準優勝 西川 淳子 殿 (むつみクラブ)

第3位 森 亜紀子 殿 (横浜レディース)

シニア女子65 第3位 筒井まさ子 殿 南雲 睦子 (フコクテニスクラブ・洋光台クラブ)

第3位 秋山千代子 殿 (太陽クラブ)

シニア男子70 第3位 石崎 和義 殿 宝力 良允 殿 (横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会)

シニア男子75 準優勝 柳川 真寛 殿 (金剛寺クラブ)

第3位 青木 東平 殿 (金剛寺クラブ)

シニア女子75 準優勝 幾田 靖子 殿 (小槻クラブ)

シニア男子80 優勝 栗田 舜二 殿 荻窪 武晴 殿 (金剛寺クラブ・あしがら21)

準優勝 石田 輝夫 殿 (ひまわりスポーツクラブ)

(10) 全日本シニア選手権大会

シニア男子70 第3位 石崎 和義 殿 宝力 良允 殿 (横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会)

シニア男子75 優勝 野地 光明 殿 (金剛寺クラブ)

第3位 青木 東平 殿 (金剛寺クラブ)

シニア男子80 第3位 栗田 舜二 殿 荻窪 武晴 殿 (金剛寺クラブ・あしがら21)

シニア女子80 第3位 湯原 露江 殿 星野 弘子 殿 (港北軟庭会・ひまわりレディースクラブ)

混合55 準優勝 太田 孝史 殿 野口 弘美 殿 (北相ソフトテニスクラブ・あじさいクラブ)

混合60 準優勝 金子 由美 殿 (横浜スマイル)



(11) 全日本レディース個人戦大会

はぎブロック 優勝 市川 富子 殿 (横浜レディース)

(65歳以上)

ももブロック 第3位 湯原 蒨江 殿 星野 弘子 殿 (東北軟会・ひまわりレディースクラブ)

(80歳以上)

(12) 全日本レディース決勝大会

第3位 神奈川県

監督 田中 直子 殿

選手 堀越あき穂 殿 赤澤 千晶 殿 林 恵子 殿

上田千賀子 殿 新免智恵子 殿 慶林坊洋子 殿

多田貴美代 殿 木元 光子 殿 花上智代子 殿

大熊扶左恵 殿

(13) 全国高等学校定時制通信制大会

男子団体第3位 県立横浜修悠館高等学校横須賀

監督 山田 洵 殿

選手 影山 拓貴 殿 谷 政彦 殿 谷口 楓馬 殿

叶 知奎 殿 中原 幸大 殿 渡部 空河 殿

古賀 明真 殿 佐々木悠生 殿

男子個人 準優勝 影山 拓貴 殿 谷 政彦 殿 (県立横浜修悠館高等学校横須賀)

(14) 第72回国民体育大会

少年女子第3位

監督 塚野 剛史 殿 (川崎市立橘高等学校)

選手 安土 月乃 殿 (川崎市立橘高等学校) 矢野 礼実 殿 (相洋高等学校)

神崎ひより 殿 (相洋高等学校) 平本 茜里 殿 (相洋高等学校)

栗野 未来 殿 (県立小田原高等学校) 杉田 来未 殿 (川崎市立橘高等学校)

鈴木 優美 殿 (日本大学藤沢高等学校) 佐俣 海遊 殿 (川崎市立橘高等学校)

(13) ハイスクールジャパンカップ2017

女子シングルス準優勝 鈴木 優美 殿 (日本大学藤沢高等学校)

#### 4 優秀賞（団体）

関東高校選手権大会	男子	第3位	横浜創英高等学校 殿
	女子	第3位	日本大学藤沢高等学校 殿
	女子	第3位	川崎市立橘高等学校 殿
関東高校選抜大会	男子	第3位	横浜創英高等学校 殿
関東実業団リーグ	男子	第2位	厚木市役所 殿
全国高等学校定時制通信制大会	男子	第3位	横浜修悠館高等学校横須賀 殿
全日本クラブ選手権大会	男子	準優勝	桜倶楽部A 殿
		第3位	せせらぎクラブA 殿
	女子	第3位	桜倶楽部A 殿

# 議案第 1 号 平成 30 年度事業計画案

## <1> 事業方針

### 1. 競技者育成プログラムの推進

(1)一貫指導システムを構築し、ジュニア強化・競技力向上を図る。

### 2. IT 化の推進

(1)IT 会員登録システムの活用により、事務処理の効率化と登録料納付の向上を図る。

(2)会員登録システムに連動し審判、技術等級の認定管理を行う。

(3)IT システムを活用して、審判、技術等級の資格チェックと大会申込手続きの効率化を図る。

### 3. 日本連盟主催各種研修会（1 級審判員、小・中・高指導者等）への派遣を行う。

### 4. 競技性の向上

#### (1)ゼッケンの着用

県内大会での一般、成年、シニアの種別においてもゼッケン着用と審判資格ワッペンを持参し、審判の際は胸に着用し、審判員の意識向上を図る。

高体連及び中体連は、関東、全国大会等の中央大会の神奈川県代表選手については、28 年度より指定のゼッケンの着用を義務付けている。

〔白の台布にゴシック体（太文字）で、上段に都道府県名又は所属連盟名、中段に名前、下段に所属名（企業名・クラブ名・学校名）〕

### 5. 協会、学連、高体連、レディース連盟間の交流促進

(1) 生涯スポーツとして愛着を持てるよう各連盟間の交流を図り、潜在する競技人口の維持・拡大に努める。また、交流を通じて競技力の向上を図る。

### 6. 県内普及事業の実施

#### (1) 小学生養成、初心者指導・スポーツ教室・指導者講習会の開催及び助成

・「ソフトテニスルールとマッチの進め方」の冊子を活用（小学生の低学年対象）することにより、小学生の競技に対する理解を深める。

#### (2) 公認審判員資格講習会の開催ならびに審判員の指導育成

#### (3) ジュニア審判普及の促進（小学生と中学生を対象）

・小学生低学年用ジュニア審判マニュアル（日本連盟）を活用し、ルール及び審判制度の理解を深める。

#### (4) マスターレフェリーおよびマスターアンパイヤーの認定（50 歳以上）

#### (5) 公認指導員制度の資格取得促進と指導者バンクの活用

・審判講習会事前受付、認定証交付等の事務改善により会員の利便性の向上を図る。

・公認スポーツ指導員、公認ソフトテニスコーチ等の活用並びに、新たな指導者の資格取得を支援し、指導体制の充実を図る。

・指導教本（DVD 付き）を基にして、公認スポーツ指導者資格取得・更新のための指導者講習会を行ない、一貫指導に向けた体制の強化を図る。

・中学及び高校等でソフトテニス未経験の顧問や指導者を対象とした講習会を行なう。

・日本連盟主催の全国小学生・中学生・高校生指導者研修会に本県から指導者を派遣する。

(6) 技術等級・指導員資格認定

①技術等級の認定（大会実績、検定会）②名誉指導員の認定

- ・技術等級制度の周知・徹底を図り、多くの会員に取得させるよう努める。特に検定会による取得の促進を図る。

(7) 地域グループ・ジュニア育成

- ・地域グループ・ジュニアの充実を図ることを目的として、地域協会・高体連・中体連に対し、会員登録料から助成する。

(8) ソフトテニス愛好者増加対策の推進

- ・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレイできる環境を提供する。またレディースを含めた社会人を対象として愛好者増加対策事業を実施する地域協会等を支援する。
- ・2015年に上映した「案山子とラケット」のDVD及びBDの紹介、及び非劇場（体育館、公民館等）で上映し愛好者の増加を図る。補助金の活用（上映費の半分を負担：125,000円、150,000円）

(9) ソフトテニス週間の実施

- ・ソフトテニス週間が、10月の体育の日（月）を中心とした1週間であることを啓発し、県内の愛好者が、特に期間中はソフトテニスを楽しむ風土を醸成する。
- ・10月14日（日）平塚市立軟式庭球場において「第2回スポーツひのまるキッズ神奈川県親子大会」を開催する。

7. ソフトテニスを通じた青少年の健全育成

(1) ソフトテニスを通じて自己責任及びフェアプレイの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図る。

- ・環境宣言『来た時よりも美しく』フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』の横断幕を連盟主催大会での掲示やプログラム掲載を行うことにより、環境とマナーの向上を図る。

(2) 大会や強化事業を実施する際にごみの分別、持ち帰り等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するための物を大切にす生活習慣を徹底する。

- ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議への積極的参加

(3) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレイの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組むと共にソフトテニスで誰にでも誇れる格調高い競技を目指す。

＊試合終了後の握手の励行を徹底推進する。

＊ワッペン着用、審判をする際の姿勢・態度等、審判のマナーの向上を図る。

＊「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動の継続推進。

- ・マナーキッズプロジェクト（NPO）と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる。

- ・「ソフトテニスマナーBOOK」を配布しPRしていく。
- ・マナーチェックシートを活用し、実態調査と指導を継続して行なう。
- ・暴力の根絶の徹底を図る。

## 8. 強化事業の実施

### (1) 県内強化事業

- ・国体総合優勝と中央大会上位入賞を目指しての強化合宿・練習会の実施。
- ・競技力向上ジュニア対策強化育成練習（step1・2）ならびに関東中学校研修大会等の実施。
- ・小・中・高・大学・レディース等の強化事業に対する助成の実施。

### (2) 県外強化事業

- ・中央大会、近都県大会（関東オープン・川口市対抗・富士宮インドア）、競技者育成プログラム（step3・4）へ積極的に選手団を派遣する。

## 9. 競技団体のあり方・事業運営の調査、研究の実施

- (1) 組織、人口、登録方法の調査の実施。
- (2) 既存大会の整備、実施方法について検討。

## 10. 広報活動の促進

- (1) 大会記録集の作成と一般広報活動の充実を図る。
- (2) 機関誌「ソフトテニス」の定期購読を促進する。
- (3) ホームページの充実
  - ・日本連盟ホームページの周知・活用を図る。
  - ・県連盟ホームページをリニューアルし、大会結果速報の掲載・県大会申込システムの構築など、内容の充実を図る。
- (4) 日本ソフトテニス連盟 TV の支局である神奈川連盟 TV の積極的な活用
  - ・神奈川連盟 TV を積極的に活用し、小・中・高・社会人各層のソフトテニス活動の映像配信を行う。

## <2> 大会日程ならびに会場

別紙、「平成 30 年度 神奈川県ソフトテニス連盟大会日程表」のとおり

## <3> 大会要項（中央大会等県外大会）について

※中央大会等県外大会へ出場する場合は、ゼッケンは四隅を止めて、必ず着用すること。

大きさ……B5 版（タテ 18.2cm、ヨコ 25.7cm）

表示方法……団体戦・個人戦共、黒文字ゴシック体太文字上段(1/4) 県名、中段(2/4) 名前、下段(1/4) 所属名の 3 段式

1. 関東選手権大会（5 月 26 日(土)・27 日(日) 雨天順延 5 月 28 日(月) 山梨県甲府市・石和市他）
  - ・県予選会を実施する。（各種別共、予選会を行い県代表を決定するが、申込数が出場枠に満たない場合予選会は行わない。）
  - ・前年度大会の成績 8 本以内は、関東連盟からの推薦により出場できる。（但し同一ペアに限る。）

(予選会による県代表選出ペア数) …… 一般男女は 24 ペア、成年男女・シニア 45 男女・シニア 50 男女・シニア 55 男女・シニア 60 男女・シニア 65 男女・シニア 70 男女・シニア 75 男女・シニア 80 男女は 12 ペア

- ・中央大会参加料は県連負担
  - ・中央大会参加資格 … 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、他種別は審判資格
  - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
2. 東日本選手権大会
- (一般・35・45=7月14日(土)・15日(日)茨城県神栖市・北茨城市)  
(シニア 50~80=7月21日(土)・22日(日)栃木県宇都宮市・栃木市)
- ・全種別共フリー出場とし、県予選会を実施しない。
  - ・中央大会参加資格 … 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、他種別は審判資格
  - ・種別は関東大会と同じ。
  - ・参加申し込みが 7 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。  
但し、シニア 80 は 3 ペア以上で実施する。
3. 全日本社会人選手権大会 (9月8日(土)・9日(日)静岡県静岡市他)
- ・県予選会を実施する。  
(県代表選出ペア数) …一般男女=20 ペア、社会人 35 男女=12 ペア、社会人 45 男女=フリー出場 (県予選会を行わない) 1 人 1 種別。
  - ・中央大会参加資格 … 一般は技術等級 2 級以上・審判資格、成年は審判資格
4. 全日本シニア選手権大会 (9月21日(金)~23日(日)佐賀県佐賀市他)
- ・種別 … 50 男女・55 男女・60 男女・65 男女・70 男女・75 男女・80 男女・混 50・混 55・混 60・混 65・混 70
  - ・全種別共フリー出場 (県予選会を行わない) 1 人 1 種別。ただし、混合ダブルスは重複参加可能
  - ・中央大会参加資格…審判資格
  - ・参加申し込みが 8 ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
5. 全日本選手権大会 (10月19日(金)~21日(日)熊本県熊本市)
- ・男子、女子共県予選会を実施する。ただし、本部推薦ペアを除く。  
(県代表選出ペア数) …両種別共 4 ペア
  - ・中央大会参加資格……技術等級 S P 以上。
6. 全日本実業団選手権大会 (8月3日(金)~5日(日)茨城県北茨城市・日立市)
- ・男子、女子共県予選会を実施する。  
(県代表選出チーム数) ……男子 4 チーム、女子 4 チーム
7. 全日本クラブ選手権大会 (10月27日(土)・28日(日)千葉県白子町)
- ・団体戦……県予選会を行わずフリー出場とする。
8. 全日本レディース大会 (8月17日(金)~19日(日)宮城県仙台市)
- ・全種別県予選会を実施する。ただし、はぎ、あじさい、さくら、ふじの 4 種別は県大会のみ。

(県代表選出ペア数) ……すみれ1ペア、ばら1ペア、ゆり1ペア、きく1ペア、あやめ1ペアで1チーム

9. 国民体育大会(10月5日(金)～10月8日(月) 福井県越前市、福井市)
  - ・全種別共予選会・選考会を実施(第1次予選会以降は選考会により県代表選手を決定・県連盟推薦も併用)
10. 関東小学生選手権大会(7月7日(土)・8日(日) 山梨県甲府市)  
全日本小学生選手権大会(7月26日(木)～29日(日) 愛媛県今治市)  
全国小学生大会(平成31年3月29日(金)～31日(日) 千葉県白子町)
  - ・関東・全日本は県予選会を実施する。選出ペア数……関東は高学年男女各8ペア、低学年男女各8ペア、全日本は男女各4ペア(全国小学生大会はダブルス①5年生の部②4年生以下の部男女各4ペア以内、シングルス6年生の部男女各2名以内)
11. 関東実業団リーグ(7月7日(土)・8日(日) 予備日:千葉県白子町)
  - ・団体戦のみとする。
  - ・県予選会を行わず、フリー出場とする。
  - ・ダブルス2ペア、シングルス1名の対抗戦とし、チームの編成は監督1名、選手8名以内とする。
  - ・5チームのリーグ戦で同レベル同士が対戦する部制となっている。
12. 国民体育大会関東ブロック大会(8月25日(土)～26日(日) 茨城県北茨城市)
  - ・種別…成年男子(4/8)、成年女子(4/8)、少年男子(2/8)、少年女子(8/8)
13. 関東家庭婦人大会(9月26日(水)・27日(木) 埼玉県熊谷市)  
9月26日(火) シニア55・60・65・70・75  
9月27日(水) 一般、成年、シニア45・50
  - ・全種別共予選会を実施する。
14. 関東教員選手権大会(8月16日(木) 川崎市・富士見公園テニスコート)  
関東教職員大会(8月16日(木)～17日(金) 川崎市富士見公園テニスコート)  
※平成30年度は本県で開催し、教員選手権大会は一般男子の個人戦、教職員大会は個人戦を8月16日(木)に、団体戦を17日(金)に実施する。
15. 日本スポーツマスターズ2018(9月15日(土)～16日(日) 北海道江別市)  
種別…35男女、45男女、混合(35女・45男)
  - ・全種別共予選会を実施する。
16. 静岡県・神奈川県対抗大会(9月16日(日) 小田原市・小田原テニスガーデン)
  - ・全種別共予選会を行わず、国体代表選手を優先し県連盟が推薦する。
17. 第31回ねりんピック2018(11月3日(土)～6日(月) 富山県高岡市)
  - ・地域を考慮して県連盟が代表チームを推薦する。(横須賀ソフトテニス協会を県代表チームとして推薦)  
(横浜市、川崎市、相模原市は政令市チームとして別に参加)

#### <4> 平成 30 年度登録方法と会費について

1. 登録方法は、各団体から直接（公財）日本ソフトテニス連盟のホームページにある会員登録システムを活用して県連盟と日本連盟へ登録することとする。ただし、大学は、学連経由とし、レディースは一括登録とする。
2. 登録会費は次のとおりとする。

区 分			金 額（年額）
団体登録	社会人団体	県連盟	15,000円（1団体）
	学 連	〃	3,000円（1校）
	高 体 連	〃	6,000円（1校）
	中 体 連	〃	2,000円（男女別1校）
	レ デ ィ ー ス	〃	50,000円（一括）
会員登録	社 会 人	日本連盟	1,000円（1名）
		県連盟	1,000円（1名）
	学 連	日本連盟	※日本学連経由で登録 500円（1名）
		県連盟	500円（1名）
	高 体 連	日本連盟	500円（1名）
	中 体 連	日本連盟	500円（1名）
	小 学 生	日本連盟	500円（1名）
	指 導 者	日本連盟	1,000円（1名）

#### <5> 平成 30 年度登録補助金について

団体名		
地 域 協 会	1 団体（県連盟分）	4,000円
	会員登録 1 名（日本連盟分）	200円
	〃（県連盟分）	100円
学 連	1 校（県連盟分）	2,000円
高 体 連	1 校（県連盟分）	4,000円
	1 名（日本連盟分）	50円
中 体 連	1 校（県連盟分）	1,900円
	1 名（日本連盟分）	100円
レ デ ィ ー ス	一括	30,000円

※団体からの登録に対する補助金は、4.管理費、4.運営費補助として、個人からの日本連盟と県連盟への登録に対する補助金は、1.事業費、3.指導普及費、1.指導者、地域、ジュニア育成費で還元する。



## 議案第 2 号 平成 30 年度予算案

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

### 1. 総収入支出予算額

項 目	収 入		支 出	
	30 年度予算額 <small>円</small>	29 年度予算額 <small>円</small>	30 年度予算額 <small>円</small>	29 年度予算額 <small>円</small>
一 般 会 計	41,070,000	41,504,000	41,070,000	41,504,000
特 別 会 計	7,130,000	7,510,000	7,130,000	7,510,000
合 計	48,200,000	49,014,000	48,200,000	49,014,000

#### 特別会計の内訳

項 目	収 入		支 出	
	30 年度予算額 <small>円</small>	29 年度予算額 <small>円</small>	30 年度予算額 <small>円</small>	29 年度予算額 <small>円</small>
国 体 関 係 費	4,610,000	5,150,000	4,610,000	5,150,000
競技力向上補助事業費	2,520,000	2,360,000	2,520,000	2,360,000
合 計	7,130,000	7,510,000	7,130,000	7,510,000

特 別 基 金
---------

平成 30 年 3 月 18 日現在 在高 2,500,000 円

## 2. 一般会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

款	項	目	30年度予算額	29年度予算額	差引額	説明
1.		登録会費収入	17,768,000	18,213,000	△445,000	別紙参照 (22 ページ)
	1.	団体登録料	3,483,000	3,498,000	△15,000	
		1. 社会団体	1,350,000	1,365,000	△15,000	
		2. 学連	33,000	33,000	0	
		3. 高体連	780,000	780,000	0	
		4. 中体連	1,270,000	1,270,000	0	
		5. レディース連盟	50,000	50,000	0	
	2.	会員登録料	14,285,000	14,715,000	△430,000	
		1. 日本連盟	13,155,000	13,565,000	△410,000	
		2. 県連盟	1,130,000	1,150,000	△20,000	
2.		事業収入	17,098,000	16,684,000	414,000	
	1.	大会参加料	6,658,000	6,474,000	184,000	別紙参照 (23 ページ)
	2.	審判関係収入	9,800,000	10,050,000	△250,000	
		1. 講習会参加料	200,000	250,000	△50,000	
		2. 認定料	8,700,000	9,000,000	△300,000	
		3. ハンドブック収入	900,000	800,000	100,000	
	3.	技術等級関係収入	160,000	160,000	0	
		1. 認定料	160,000	160,000	0	
	4.	指導者講習会参加料	480,000	0	480,000	
3.		賛助会費収入	850,000	900,000	△50,000	
	1.	賛助会費収入	850,000	900,000	△50,000	
4.		補助金収入	3,704,000	3,907,000	△203,000	別紙参照 (24 ページ)
	1.	日本連盟	3,634,000	3,797,000	△163,000	
	2.	大会実行委員会	40,000	40,000	0	
	3.	関東ソフトテニス連盟	30,000	0	30,000	
		かながわ福祉サービス振興会	0	70,000	△70,000	
5.		雑収入	650,000	650,000	0	
	1.	雑収入	650,000	650,000	0	ひのまるキッズ親子大会支援金、広告料、代議員会総会費等
6.		繰越金	500,000	1,150,000	△650,000	
	1.	繰越金	500,000	1,150,000	△650,000	前年度繰越金
7.		特別基金取崩収入	500,000	0	500,000	
	1.	特別基金取崩収入	500,000	0	500,000	
		合計	41,070,000	41,504,000	△434,000	

(支出の部)

単位：円

款	項	目	30年度予算額	29年度予算額	差引額	説明
1.	事業費		21,106,000	20,962,000	144,000	
1.	大会関係費		2,300,000	2,010,000	290,000	
	1.	社会人大会	1,000,000	1,000,000	0	
	2.	シニアフェスタ	140,000	250,000	△110,000	
	3.	全日本レディース大会予選	70,000	70,000	0	
	4.	中学選手権・高校国体予選	650,000	600,000	50,000	※日本連盟補助 中学選手権大会 30,000
	5.	全日本小学生大会予選会	90,000	90,000	0	※日本連盟補助 小学生選手権大会 30,000
	6.	親子大会	250,000	0	250,000	
	7.	関東教員選手権大会	100,000	0	100,000	
2.	大会参加料		2,756,000	2,622,000	134,000	
	1.	大会参加料	2,756,000	2,622,000	134,000	別紙参照 (24 ページ)
3.	指導普及費		4,430,000	4,100,000	330,000	
	1.	指導者、地域、ジュニア育成費	3,380,000	3,055,000	325,000	指導者講習会 480,000 ※日本連盟補助 愛好者増加対策 150,000 地域・ジュニア育成 2,543,000 指導者研修会旅費 31,000
	2.	小学生・中学生全国大会派遣費	650,000	690,000	△40,000	※日本連盟補助 全日本小学生交通費 200,000 ※伊勢実行委員会補助 都道府県中学生大会 20,000 ※白子実行委員会補助 全国小学生大会 20,000
	3.	ソフトテニス週間関係費	150,000	150,000	0	※日本連盟補助 100,000
	4.	その他指導普及費	250,000	205,000	45,000	※日本連盟補助 日本スポーツマスターズ 150,000
4.	競技力向上費		2,740,000	3,090,000	△350,000	
	1.	選手強化費	600,000	600,000	0	選手強化費 ※日本連盟補助 競技者育成推進費 400,000
	2.	国体関係費 特別会計繰出金	1,620,000	1,790,000	△170,000	特別会計繰出金 (20 ページ)
	3.	競技力向上補助事業費 特別会計繰出金	520,000	700,000	△180,000	特別会計繰出金 (21 ページ)
5.	審判関係費		6,830,000	6,990,000	△160,000	
	1.	審判講習会関係費	160,000	150,000	10,000	
	2.	認定料	5,900,000	6,100,000	△200,000	
	3.	ハンドブック代	720,000	640,000	80,000	
	4.	その他審判関係費	50,000	100,000	△50,000	

単位：円

款 項	目	30年度予算額	29年度予算額	差 引 額	説 明
6.	技術等級関係費	100,000	100,000	0	
	1. 認定料	80,000	80,000	0	
	2. その他技術等級関係費	20,000	20,000	0	
	7. 広報活動費	750,000	750,000	0	
		1. 大会記録集作成費	150,000	150,000	0
	2. 広報活動費	600,000	600,000	0	HP リニューアル
8. 表彰費	1,200,000	1,300,000	△100,000		
	1. 代議員会表彰費	300,000	300,000	0	
	2. 主催大会表彰費	900,000	1,000,000	△100,000	
2.	加盟費	385,000	375,000	10,000	
	1. 日本連盟	150,000	150,000	0	
	2. 東日本連盟	30,000	20,000	10,000	
	3. 関東連盟	70,000	70,000	0	
	4. 県体育協会	135,000	135,000	0	
3.	会員登録関係費	13,185,000	13,595,000	△410,000	
	1. 日本連盟登録料	13,155,000	13,565,000	△410,000	社会人@1,000×1,050名 高校生@500×3,180名 中学生@500×20,190名 小学生@500×460名 指導者@1,000×600名
	2. 会員登録事務費	30,000	30,000	0	
4.	管理費	6,130,500	6,172,500	△42,000	
	1. 事務局費	1,200,000	1,200,000	0	
	2. 会議費	850,000	900,000	△50,000	
	1. 代議員会費	450,000	500,000	△50,000	
	2. 理事会費	250,000	250,000	0	
	3. その他会議費	150,000	150,000	0	
	3. 一般管理費	1,920,000	1,920,000	0	
	1. 備消耗品費	100,000	120,000	△20,000	
	2. 印刷費	750,000	800,000	△50,000	
	3. 通信運搬費	420,000	350,000	70,000	
	4. 旅費	200,000	150,000	50,000	
	5. 雑費	450,000	500,000	△50,000	
	4. 運営費補助	2,160,500	2,152,500	8,000	
	1. 地域協会	356,000	364,000	△8,000	@4,000×89 団体
	2. 学連	32,000	32,000	0	@2,000×11 校+10,000
	3. 高体連	536,000	520,000	16,000	@4,000×134 校
	4. 中体連	1,206,500	1,206,500	0	@1,900×635 校
	5. レディース連盟	30,000	30,000	0	一括
5.	予備費	263,500	399,500	△136,000	
	1. 予備費	263,500	399,500	△136,000	
	合 計	41,070,000	41,504,000	△434,000	

### 3. 特別会計

#### (1) 国体関係費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	30年度予算額	29年度予算額	差 引 額	説 明
1 繰 越 金	200,000	300,000	△100,000	前年度繰越金
2 国 体 派 遣 費	1,800,000	2,100,000	△300,000	県国体派遣補助
3 補 助 金	150,000	110,000	40,000	県体協一般健康診断費補助金
4 国 体 協 力 金	167,000	167,000	0	国体予選会参加者
5 負 担 金	650,000	650,000	0	役員・選手負担金・健康診断選手
6 雑 収 入	23,000	33,000	△10,000	寄付金等
7 一般会計繰入金	1,620,000	1,790,000	△170,000	一般会計繰入金
合 計	4,610,000	5,150,000	△540,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	30年度予算額	29年度予算額	差 引 額	説 明
1 旅 費	70,000	60,000	10,000	連絡旅費
2 通 信 運 搬 費	40,000	40,000	0	郵便料
3 会 議 費	40,000	60,000	△20,000	打ち合わせ等会議費
4 印 刷 費	10,000	10,000	0	強化、結果報告等印刷費
5 大 会 参 加 料	50,000	50,000	0	ブロック・中央大会参加料
6 強 化 費	600,000	730,000	△130,000	選手強化関係費
7 派 遣 費	3,500,000	3,900,000	△400,000	中央大会派遣関係費
8 雑 費	50,000	50,000	0	ユニホーム代等
9 健 康 診 断 費	250,000	250,000	0	一般健康診断経費
合 計	4,610,000	5,150,000	△540,000	

## (2) 競技力向上補助事業費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	30年度予算額	29年度予算額	差 引 額	説 明
1 県体育協会補助金	1,700,000	1,240,000	460,000	選手強化、ジュニア強化補助金
2 一般会計繰入金	520,000	700,000	△180,000	競技団体負担金
3 参加者負担金	300,000	420,000	△120,000	役員、選手参加負担金
合 計	2,520,000	2,360,000	160,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	30年度予算額	29年度予算額	差 引 額	説 明
1 謝 金	550,000	450,000	100,000	指導者謝金
2 旅 費	550,000	600,000	△50,000	指導者、選手宿泊費、交通費
3 需 用 費	600,000	600,000	0	消耗品（ボール等）、印刷費
4 通 信 運 搬 費	20,000	10,000	10,000	切手代
5 保 険 料	200,000	200,000	0	傷害保険料
6 使用料・賃借料	300,000	250,000	50,000	コート使用料
小 計	2,220,000	2,110,000		(補助対象経費)
7 そ の 他	300,000	250,000	50,000	(補助対象外経費) 昼食、飲物代等
合 計	2,520,000	2,360,000	160,000	

別表 平成30年度予算案

収入

1. 登録会費収入（17,768,000円）の内訳

科 目	30年度予算		29年度予算		備 考
	数	金 額	数	金 額	
社会団体登録料	90	1,350,000	91	1,365,000	@ 15,000円
大学団体登録料	11	33,000	11	33,000	@ 3,000円
高体連団体登録料	130	780,000	130	780,000	@ 6,000円
中体連団体登録料	635	1,270,000	635	1,270,000	@ 2,000円
レディース団体登録料	年額	50,000	年額	50,000	一括
団体登録料計		3,483,000	-	3,498,000	
会員登録料 (社会人団体 日本連盟)	1,040	1,040,000	1,050	1,050,000	@ 1,000円
〃 (社会人団体 県連盟)	1,040	1,040,000	1,050	1,050,000	@ 1,000円
〃 (学連 県連盟)	180	90,000	200	100,000	@ 500円
〃 (高体連 日本連盟)	3,120	1,560,000	3,180	1,590,000	@ 500円
〃 (中学生 日本連盟)	19,400	9,700,000	20,190	10,095,000	@ 500円
〃 (小学生 日本連盟)	450	225,000	460	230,000	@ 500円
〃 (指導者 日本連盟)	630	630,000	600	600,000	@ 1,000円
会員登録料計		14,285,000		14,715,000	
合 計		17,768,000		18,213,000	

## 2. 大会参加料収入（6,658,000円）の内訳

大会名	30年度予算			29年度予算		
	参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
1 関東オープン大会	31	4,000円	124,000円	—	—円	—円
2 シングルス・ミックス大会	40	3,000	120,000	40	3,000円	120,000円
3 春季男女大会	240	3,000	720,000	240	3,000	720,000
4 秋季男女大会	190	3,000	570,000	190	3,000	570,000
5 夏季チーム対抗大会	24	7,000	168,000	24	7,000	168,000
6 勝抜チーム対抗大会	8	6,000	48,000	10	6,000	60,000
7 県一般選手権大会	210	3,000	630,000	210	3,000	630,000
8 関東大会県予選会	200	4,000	800,000	210	4,000	840,000
9 東日本選手権大会	80	5,000	400,000	70	5,000	350,000
10 社会人大会県予選会	80	4,000	320,000	80	4,000	320,000
11 全日本大会県予選会	55	4,000	220,000	55	4,000	220,000
12 実業団大会県予選会	10	15,000	150,000	10	15,000	150,000
13 中学校選手権大会	296	1,000	296,000	296	1,000	296,000
14 国体少年男女県予選会	170	500	85,000	174	500	87,000
15 国体成年男女県予選会	40	2,000	80,000	40	2,000	80,000
16 関東家庭婦人県予選会	70	4,000	280,000	70	4,000	280,000
17 中学校団体対抗大会	64	3,000	192,000	64	3,000	192,000
18 関東実業団リーグ	9	21,000	189,000	9	21,000	189,000
19 全日本クラブ選手権大会	25	16,000	400,000	25	16,000	400,000
20 全日本シニア選手権大会	60	5,000	300,000	70	5,000	350,000
21 日本スポーツマスターズ	9	4,000	36,000	8	4,000	32,000
22 シニアフェスタ	21	6,000	126,000	26	6,000	156,000
23 全日本小学生選手権	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
24 全日本小学生大会県予選会	40	750	30,000	40	750	30,000
25 都道府県全日本中学生	2	20,000	40,000	2	20,000	40,000
26 全国小学生大会	20	2,000	40,000	20	2,000	40,000
27 日本リーグ	—	—	—	1	100,000	100,000
28 日本実業団リーグ	2	30,000	60,000	1	30,000	30,000
29 ジュニアジャパンカップ	2	2,000	4,000	2	2,000	4,000
30 親子大会	140	1,500	210,000	—	—	—
合計			6,658,000			6,474,000



### 3. 補助金収入（3,704,000 円）の内訳

項 目	30 年度予算		29 年度予算	
	内 容	金 額	内 容	金 額
日本ソフトテニス連盟	中学生選手権大会	30,000 <sup>円</sup>	中学生選手権大会	30,000 <sup>円</sup>
〃	小学生選手権大会	30,000	小学生選手権大会	30,000
〃	地域クラブ育成	335,000	地域クラブ育成	330,000
〃	ジュニア育成	2,208,000	ジュニア育成	2,295,000
〃	ソフトテニス週間	100,000	ソフトテニス週間	100,000
〃	全日本小学生交通費	200,000	全日本小学生交通費	120,000
〃	競技者育成推進	400,000	競技者育成推進	400,000
〃	日本スポーツマスターズ	150,000	日本スポーツマスターズ	150,000
〃	愛好者増加対策	150,000	愛好者増加対策	150,000
〃	指導者研修会交通費	31,000	指導者研修会交通費	42,000
〃	広報活動（映画）	0	広報活動（映画）	150,000
県社会福祉協議会	シニアフェスタ	0	シニアフェスタ	70,000
大会実行委員会	全国小学生大会	20,000	全国小学生大会	20,000
〃	都道府県中学生大会	20,000	都道府県中学生大会	20,000
関東ソフトテニス連盟	関東教員選手権大会	30,000	関東教員選手権大会	—
合 計		3,704,000		3,907,000

### 支 出

#### 1. 大会参加料（2,756,000 円）の内訳

大 会 名	30 年度予算			29 年度予算		
	参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
関東オープン大会	31	4,000 <sup>円</sup>	124,000 <sup>円</sup>	—	— <sup>円</sup>	— <sup>円</sup>
関東選手権大会	180	4,000	720,000	155	4,000	620,000
東日本選手権大会	80	4,000	320,000	70	4,000	280,000
実業団選手権大会	5	25,000	125,000	5	25,000	125,000
全日本社会人選手権大会	50	4,000	200,000	50	4,000	200,000
全日本選手権大会	8	4,000	32,000	8	4,000	32,000
関東家庭婦人大大会	55	4,000	220,000	60	4,000	240,000
関東実業団リーグ	9	20,000	180,000	9	20,000	180,000
全日本クラブ選手権大会	25	15,000	375,000	25	15,000	375,000
都道府県全日本中学生	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
全日本シングルス大会	4	4,000	16,000	4	4,000	16,000
全日本シニア選手権大会	60	4,000	240,000	70	4,000	280,000
日本スポーツマスターズ	1	60,000	60,000	1	60,000	60,000
全国小学生大会	20	2,000	40,000	20	2,000	40,000
全日本小学生選手権大会	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
日本リーグ	—	100,000	0	1	100,000	100,000
日本実業団リーグ	2	30,000	60,000	1	30,000	30,000
ジュニアジャパンカップ	2	2,000	4,000	2	2,000	4,000
合 計			2,756,000			2,622,000

## 代議員

所属団体名	代議員名
横浜ソフトテニス協会	梅田宏司 塚原達也
川崎市ソフトテニス協会	清水孝 竹下久則
横須賀ソフトテニス協会	栗本頼一 長澤孝雄
小田原ソフトテニス協会	柳川真寛 勝亦仁
藤沢ソフトテニス協会	久保為彦 西山千秋
平塚市ソフトテニス協会	土屋真二 柏木雅昭
県央ソフトテニス協会	川又信夫 伊東和彦
相模原市ソフトテニス協会	秋山千代子 柳川守造
県レディースソフトテニス連盟	石井順子 岸川廣子
県学生ソフトテニス連盟	古賀悠太 関口旬
県高体連ソフトテニス専門部	山本敏雄 荒木律彦
県中体連ソフトテニス部	井上春彦 樋口顕太郎